

1995年創設  
市民が選ぶ贈る  
日本版ピューリッツァー

PCJF PEACE & COOPERATIVE JOURNALIST FUND OF JAPAN

平和・協同ジャーナリスト基金受賞記念講演会

HP <http://www.pcjf.net/> ★これまでのすべての受賞者を紹介しています。

平和・協同ジャーナリスト基金（PCJF）は、反核・平和・人権擁護・協同（連帯）に関する報道に貢献したジャーナリストを支援するために、市民の寄付によって1995年に創設され、これまで15回にわたり、123の著作、映像作品に基金賞を贈呈、顕彰してきました。昨年度は7作品を顕彰しました。今回は、一連の核密約報道で基金賞（大賞）受賞の共同通信社編集委員兼論説委員・太田昌克さんと、奨励賞の沖縄タイムス論説委員兼編集委員・屋良朝博さんのお二人をお招きして、受賞記念講演会を開催します。

会場 明治大学リバティタワー 9階 1096

JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」か「淡路町駅」下車徒歩5分  
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」下車徒歩5分  
都営地下鉄三田線、新宿線、東京メトロ半蔵門線「神保町駅」下車徒歩5分

●資料代 1000円（学生500円）※予約は必要ありません

●問い合わせ先 TEL&FAX 03-3475-2495 e-mail

pcjf1995@yahoo.co.jp

6月26日

(土)

18:00~20:40



太田昌克さん

共同通信社編集委員兼論説委員

『核持ち込み密約は外務官僚が管理 一歴代四次官が証言』など核密約に関する一連の報道で第15回平和・協同ジャーナリスト基金賞（大賞）受賞。

1968年、富山県生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業後、92年、共同通信社入社。03年～07年まで、同社ワシントン特派員。国務省、ホワイトハウス、連邦議会などを担当しながら、核問題をフォローし続けた。06年度「ボーン・上田記念国際記者賞」

「核の傘」と日米同盟 — 核密約とは何だったのか

安保50年 日米同盟の虚構を解き明かす

海兵隊の抑止力とは何か — 普天間の行方



屋良朝博さん

沖縄タイムス論説委員兼編集委員

『砂上の同盟 — 米軍再編が明かすウソ —』（沖縄タイムス社）で第15回平和・協同ジャーナリスト基金奨励賞受賞。1962年、沖縄県北谷町生まれ。1988年、沖縄タイムス入社。海兵隊グアム移転の理由を知るために2007年7月から沖縄タイムスを1年間休職してハワイ東西センターに客員研究員として留学。関係者の証言を通して、沖縄基地の「地理的優位性」に根拠がないことを明らかにし『砂上の…』を上梓。「軍隊